DIGITABLE 第 122 回勉強会レポート

2019 年 2 月 16 日　於：江東区亀戸文化センター 6F 第 3 研修室

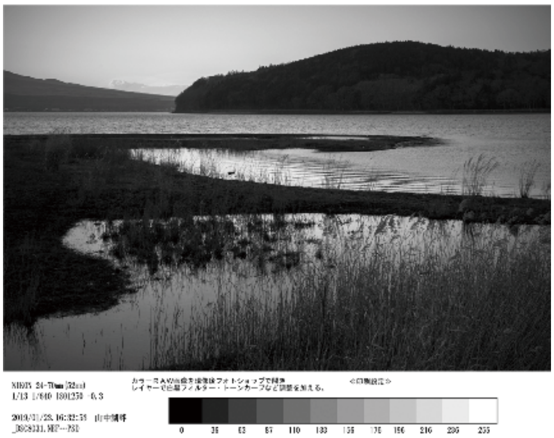
多田会員によるドローンの発表

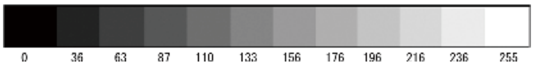
研究講座：「カラーと白黒写真」エプソンプリンターの設定について解説：平野正志講師
“ライトニングトーク”　希望者各自 3 分
動画技術講座「電子スタビライザー（ジンバル）研究 II」：高木大介 講師

DIGITABLE 写真技術研究会 (HOME)　http://www.digitable.info

Digitable 研究講座「カラー印刷・モノクロ印刷」：平野正志講師

■エプソンプリンターには印刷設定にカラーと白黒があり、モノクロはいくつかに設定が別れる。筆者は通常モノクロ写真の印刷もカラー設定で行っているが、白黒印刷との違いなどをグレーチャートの数値などから検証する。
右のテスト画像を製作し、それぞれの設定で印刷、グレーチャートの数値を測定した。
データ上のグレーチャートの RGB 値はそれぞれの濃度ですべて同じ＝グレーのデータとなる。





■印刷結果を見ると、も黒それぞれに微妙な変化があるようだ。以前比較した結果として基本的にカラーを選んでプリントしているが、白黒ニュートラルはインクの黒グレーのみでの印刷ではないか？その他白黒は多少色インクを使用しているのではとの想像だが、下部のグレーチャートを測定して、数値を比べてみる。

数値の分析はなかなか難しいが、白黒写真の選択肢にクールやウオームがあるように、カラーインクを使用して印刷されていることがわかる。結果として RGB 値が同じになることはなかった。

※カラー　色補正・オフ(色補正なし)

R	17	35	58	77	96	120	141	165	182	201	219	234
G	20	38	63	84	103	127	148	170	186	203	222	238
B	23	42	66	87	105	129	152	174	189	205	223	239

※モノクロ写真　色補正・純黒色（ニュートラル）

R	20	41	66	86	103	120	137	152	172	190	212	234
G	20	43	70	91	107	124	141	157	176	194	215	237
B	19	43	70	92	108	125	142	159	178	196	218	240

※モノクロ写真　色補正・冷黒調（クール）

R	19	36	52	81	87	113	117	126	170	178	207	232
G	20	41	59	90	97	122	123	134	177	183	211	235
B	20	43	65	94	104	127	131	143	179	191	217	240

※モノクロ写真　色補正・温黒調（ウオーム）

R	21	46	74	93	112	128	144	160	173	192	201	234
G	20	44	72	92	110	127	143	159	174	193	204	237
B	19	41	67	88	105	122	139	156	174	195	210	235

※モノクロ写真　色補正・セピア

R	32	57	94	104	119	139	142	166	156	200	200	216
G	27	50	86	96	111	131	137	161	154	198	202	221
B	24	46	81	93	108	127	136	159	157	196	209	230

結論としては色調は好みだが、個人的には白黒写真もカラー印刷した方が良い結果のように思える。

****
DIGITABLE 写真技術研究会 不許複製（C) Digitable.info. 20190216　All Rights Reserved
****

■ライトニングトーク

・舘会員：成田山新勝寺の動画
Ipad10 で撮影・ジンバル使用・ダヴィンチリゾルブで編集
・吉田会員：「ほめ写」セミナーに参加したことの報告
「自分の写真を飾っている家庭の子どもは自己肯定感にあふれている」ということでした。
・松井会員：12 月デジタブル撮影会での動画を発表
・盛田会員：秋の野川を写したプリントを発表
どれもハイキーなもので露出は +2 くらいまで上げ、また、カメラを意図的にぶらして撮影したもの。
・伊東会員：レースドールの写真、及び撮影時のことを発表
また、レースドールの作り方についても説明してくれた。
・多田会員：最近購入したトイドローンを飛ばし撮影実演を披露。
トイドローン（約 12000 円くらい）はあくまで練習機としてであり、次に MARK2 を購入を考えているとのこと。
・永冨会員：自宅に開設している warawoo スタジオを同じ建物内で移動し、リニューアルしたのでその報告。
壁紙貼りなど自分でやったとのことでした。
（Yuki 記）

■デジタル動画講座「電子スタビライザー（ジンバル）研究 II」：高木大介講師

昨年末に相次いで導入した二機種だが、かなり大きさや印象が異なる。はじめに購入した Vimble2 は第一印象通りの“軽快なジンバル”で、人混みや街中でも気軽に使える。周囲の人からもあまり抵抗感のない印象だ。多機能なモーター制御は実際に撮っていない時も楽しく遊べるし、他人から見ても『変わった自撮り棒で遊んでいるな？』といった印象で警戒心も持たれない。
この大きさなら小型のカメラバックやリュックでも気兼ねなく突っ込めるし、専用キャリングケースもコンパクトで使いやすく、ケース単独でぶら下げても負担感のないのがいい。
対する Smooth 4 は、大きさもさることながら各部が一回り以上、がっしりした作りとなり、プロっぽさの反面、周囲にも『変わったカメラの道具で撮っているな！』と認識させてしまう迫力。
もちろん仕事や本格的に気合の入った撮影はこれでよいのだが、日常や人混みで気軽に使うには、少し覚悟がいる。
仕舞い寸法もスペック表では僅かだが、実際にスマホやスタンドを装着した時の差はかなり大きく、カメラバックに突っ込むにしても、中型クラスが必要で、このあたりのスペース感覚はややもすると通常のカメラを上回ってしまう…

ZY PLAY の 3 × 3 パノラマ撮影
合計 9 枚の写真を撮影して超広角写真が撮影できる
（1386 × 1095pixel の約 4：5 画像）

****
DIGITABLE 写真技術勉強会　不許複製（C) Digitable.info. 20190216 All Rights Reserved
****